

佐賀駐屯地（仮称）の整備 に係る工事について

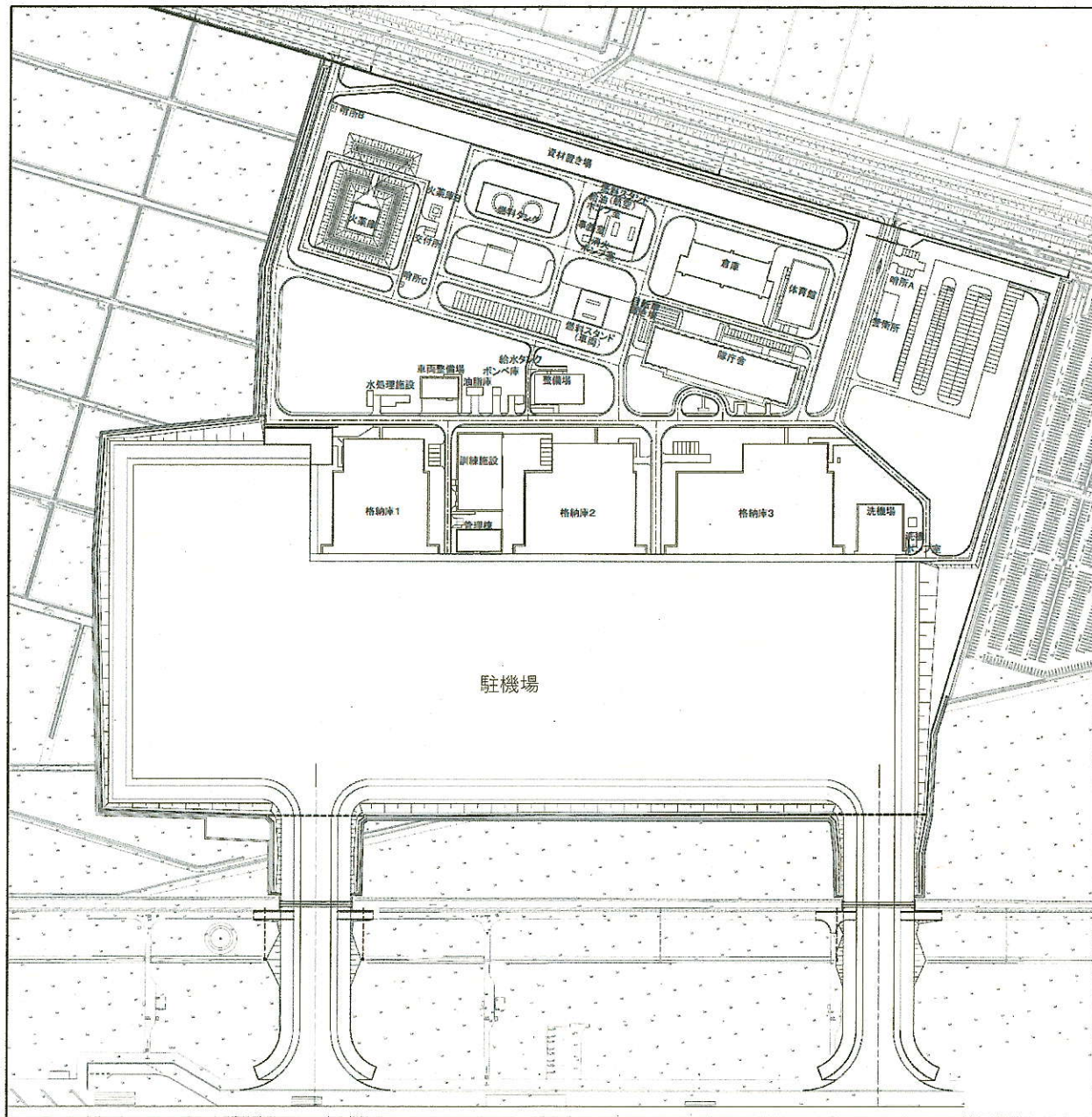
九州防衛局
令和5年6月

1. 佐賀空港・位置図
2. 計画位置図・施設概要
3. 工事概要
4. 工事中の環境保全策及び安全対策等
5. 主に使用する建設機械
6. 工事に関する問い合わせ先

1. 佐賀空港・位置図



2. 施設概要



《施設イメージ》



駐機場



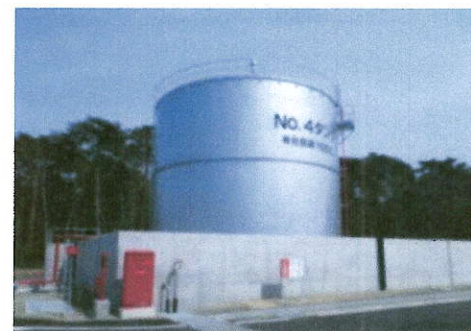
隊庁舎



格納庫



火薬庫



燃料タンク

3. 工事概要

佐賀駐屯地（仮称）の早期開設の必要性

- 我が国を取り巻く安全保障環境が一層厳しさを増す中、国民の皆様の生命・財産と領土・領海・領空を守り抜くための取り組みの一つに「島嶼防衛」があります。
- オスプレイは、我が国の島嶼が侵攻を受けた場合の対応の要となる水陸機動団（長崎県佐世保市に配備）を迅速に島嶼に輸送するために極めて重要な役割を有しています。
- このため、**早期に佐賀駐屯地（仮称）を開設し、水陸機動団と一体的に運用できる態勢を構築する必要があります。**

島嶼への侵攻があった場合の奪回作戦（一例）



V-22の主要性能

外観



オスプレイ (V-22)



輸送ヘリ (CH-47JA)

最大速度（連続）

約465km/h

約2倍

約270km/h

航続距離

約2,600km

約3倍

約800km

最大飛行高度

25,000ft (約7,620m)

9,200ft (約2,800m)

乗務員数+搭乗者数

3名+24名

3名+55名

搭載重量（内部）

約9,100kg

約9,100kg

吊上重量（外部）

約6,800kg

約12,900kg

製造会社

Bell Boeing（米）

Boeing社（米）

3. 工事概要

- ・ 工事については、**周辺的生活環境への影響が可能な限り小さくなるよう、佐賀県、佐賀市、佐賀県警本部等の関係機関との間で意見交換を行いつつ工事を進めていく**考えです。

その上で、駐屯地の早期開設のための取り組みを行います。

< 浜田防衛大臣会見（令和5年6月13日） >

佐賀空港に隣接する駐屯地の整備について、昨日12日より、現地で作業に入りました。

作業に際しては、周辺的生活環境への影響が可能な限り小さくなるよう努めていく考えであり、例えば、土砂の搬入開始までの間に、佐賀市とよく御相談しながら、生活環境に係る市のご要望を踏まえた具体的な対応を整理し、進めてまいります。

その上で、今後、工期短縮に効果的な工法等を採用し、移駐に必要な施設を優先的に整備していく考えであります。

- ・ 工事としては、まず、駐屯地予定地と県道との境界に工事用のフェンスを設置し、駐屯地予定地内での工事用道路や仮設調整池の整備を行います。その後、地盤改良や各種建物等の工事を実施していく計画です。
- ・ 夜間及び休日にも作業も実施する予定ですが、**夜間の工事や運搬については、6月中は実施せず、作業開始以降の状況を踏まえながら開始時期を決定**します。
- ・ また、夜間作業を行う際には、工事エリア外に照明を照射しないよう作業を行います。
- ・ 作業内容等につきましては、場外掲示板に表示し、お知らせします。

4. 工事中の環境保全策及び安全対策

工事中に発生する粉じん、騒音・振動及び排出ガスに対し、周辺環境への影響を低減するための対策を行うとともに、交通安全や渋滞に対する対策を行います。

粉じん対策

- ・ 工事区域外へほこりが飛散しないよう、外周に仮囲いを設置するとともに、施工中は適宜散水を行うこととし、防塵対策に努めます。
- ・ 工事区域出入口において、工事車両は泥落とし装置等によりタイヤ洗浄を行い、一般道路を土砂や泥で汚さないように努めます。
- ・ 道路清掃員を配置し、工事用車両の通行で発生する粉じん等による汚れを除去します。

排出ガス対策

- ・ 工事で使用する重機は、排出ガス対策型建設機械を使用します。
- ・ 機械の整備点検を実施するとともに、不必要な高速運転を抑制します。

【散水のイメージ】



【泥落とし装置のイメージ】



騒音対策

- ・ ダンプの運搬経路で騒音のモニタリング調査を実施します。
- ・ 工事で使用する重機は低騒音型の重機を使用します。
- ・ 稼働していない重機及び車両はアイドリングストップを行います。
- ・ 重機の不要な空ぶかしは行いません。
- ・ 鋼矢板や杭の設置は、騒音の少ない工法により実施します。

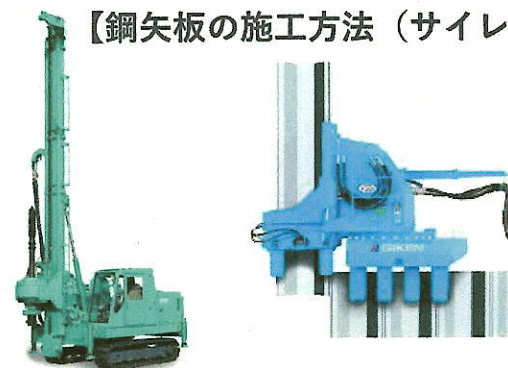
振動対策

- ・ ダンプの運搬経路で振動のモニタリング調査を実施します。
- ・ 工事で使用する重機は低振動型の重機を使用します。
- ・ 稼働していない重機及び車両のアイドリングストップを行います。
- ・ 重機の不要な空ぶかしは行いません。
- ・ 鋼矢板や杭の設置は、振動の少ない工法により実施します。

【低騒音型・低振動型の施工機械】



【鋼矢板の施工方法（サイレントパイラー）】



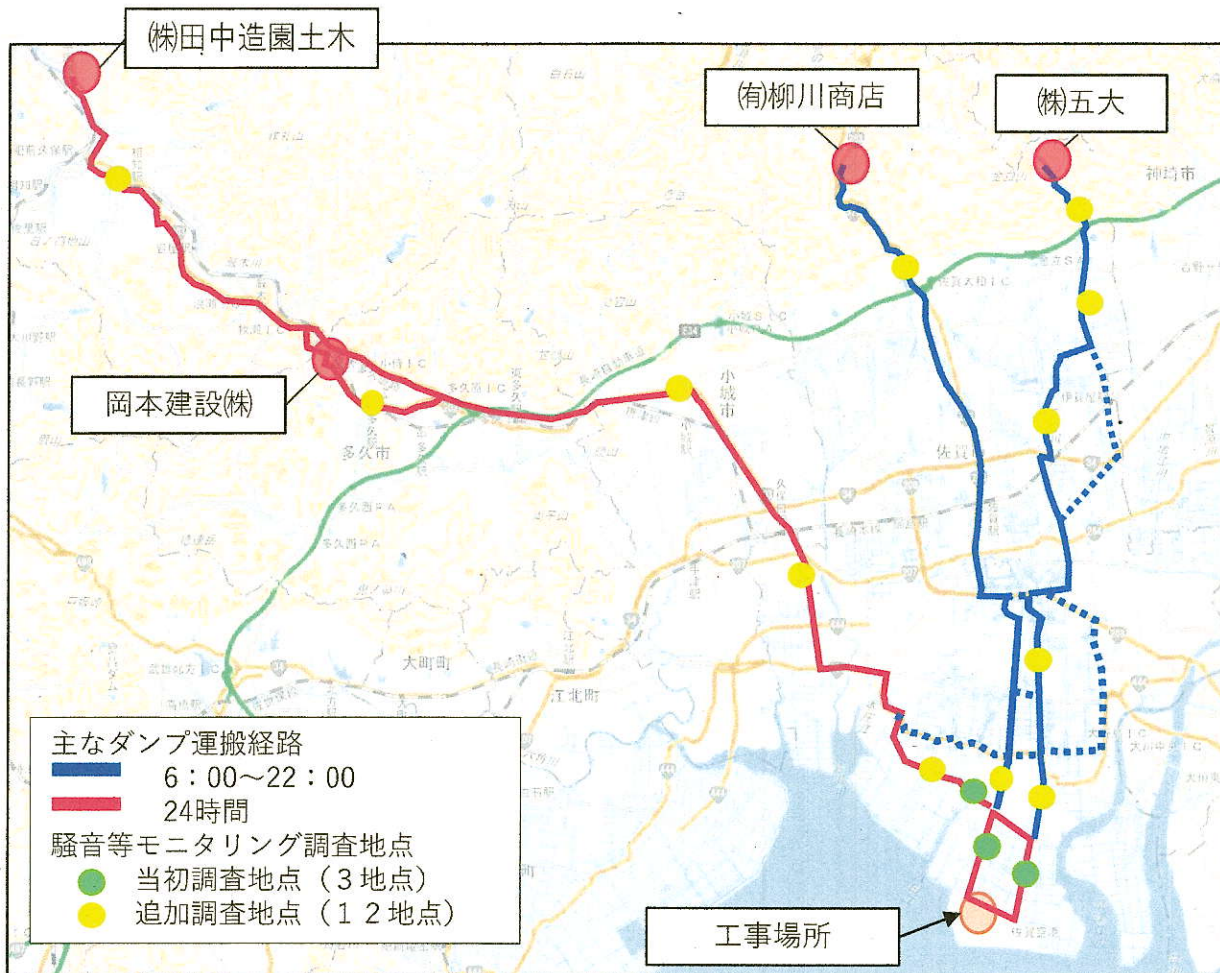
交通安全対策

- ・子どもの安全の確保や通勤への影響を最小限とするため、通勤通学時間帯を踏まえ、7：00～8：30までは運搬は行いません。
- ・近隣の小学校・中学校付近に交通誘導員を配置します（6：00～19：00）。
- ・工事場所出入口にも交通誘導員を配置し、工事用車両と一般車両や歩行者との交通事故防止に努めます。
- ・工事用資材の運搬時は、運搬経路を適時パトロールし、交通安全に努めます（工事用資材の主な搬入予定経路は次頁のとおり）。
- ・ダンプトラックには、本工事に係る車両であることを認識できるよう、九州防衛局と記載された幕等を取付けます。
- ・安全訓練を定期的実施し、交通に関する注意喚起（交通マナーの徹底、法定速度の遵守、過積載の防止）を徹底します。
- ・日々の車両点検を実施します。
- ・現場内の安全パトロールによる資材等の飛散防止措置を実施します。
- ・土砂・資材の運搬経路については、佐賀市からの意見も参考に、市民の生活環境及び事業活動に影響が可能な限り小さくなる経路とします。
- ・佐賀県、佐賀市、佐賀県警本部等の関係機関の間で連絡体制を整備し、駐屯地の工事に係る交通安全対策や運搬経路等について意見交換を行いつつ工事を進めます。

交通渋滞対策

- ・大型車両の運行が集中しないよう、運行台数を把握し、搬入時間を調整します。
- ・特定のルートのみを通行しないよう分散化を図ります。

ダンプ運搬経路



※点線はサブルートを示しています。基本的には実線のルートを通りますが、混雑状況等を踏まえ、サブルートを走行する場合があります。
 ※交通状況等により上記ルート以外を通行することもあります。

- ・土砂の運搬経路の全ての路面の性状調査を実施しました。
- ・土砂の運搬については、19日から開始します。
- ・開始以降当面の間は、1つの土取り場からの出発頻度を30分に1台以下、使用台数は約20台※に制限をして行い、ダンプトラックの運行状況やモニタリング調査等の結果を踏まえながら、段階的に実施します。

※ 各土取場からの当面のダンプ台数と搬入回数は次のとおり計画しています

柳川商店：ダンプ4台で最大計16回/日搬入

五大：ダンプ4台で最大計16回/日搬入

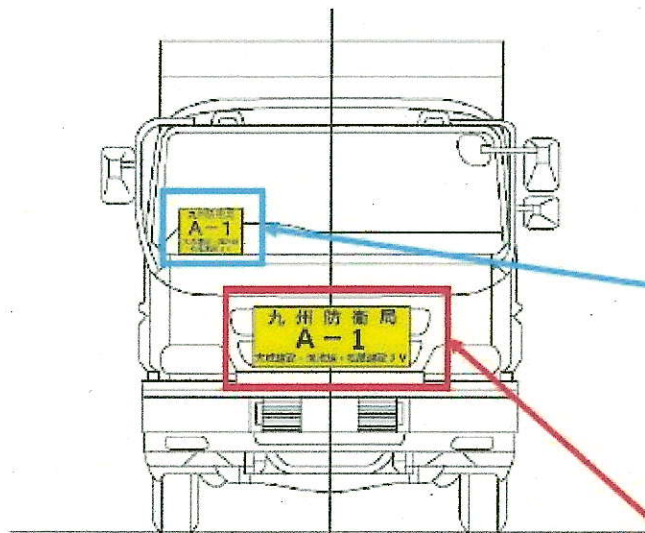
岡本建設：ダンプ6台で最大計17回/日搬入

田中造園土木：ダンプ7台で最大計16回/日搬入

- ・6月中は、午後18時30分から翌午前8時30分までの間は、工事や運搬は実施しません。
- ・夜間の工事や運搬については、作業開始以降の状況を踏まえながら開始時期を決定します。

ダンプトラックに取付ける幕等

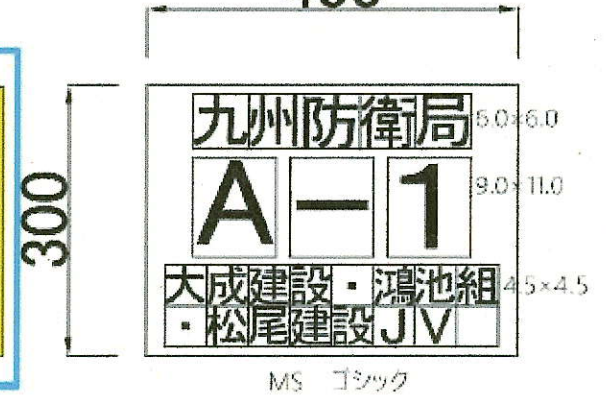
正面



A3ラミネート



400

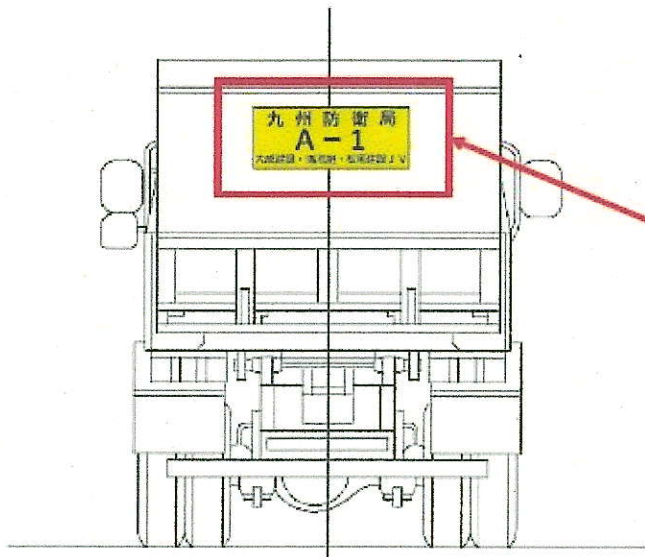


MS ゴシック

管理幕

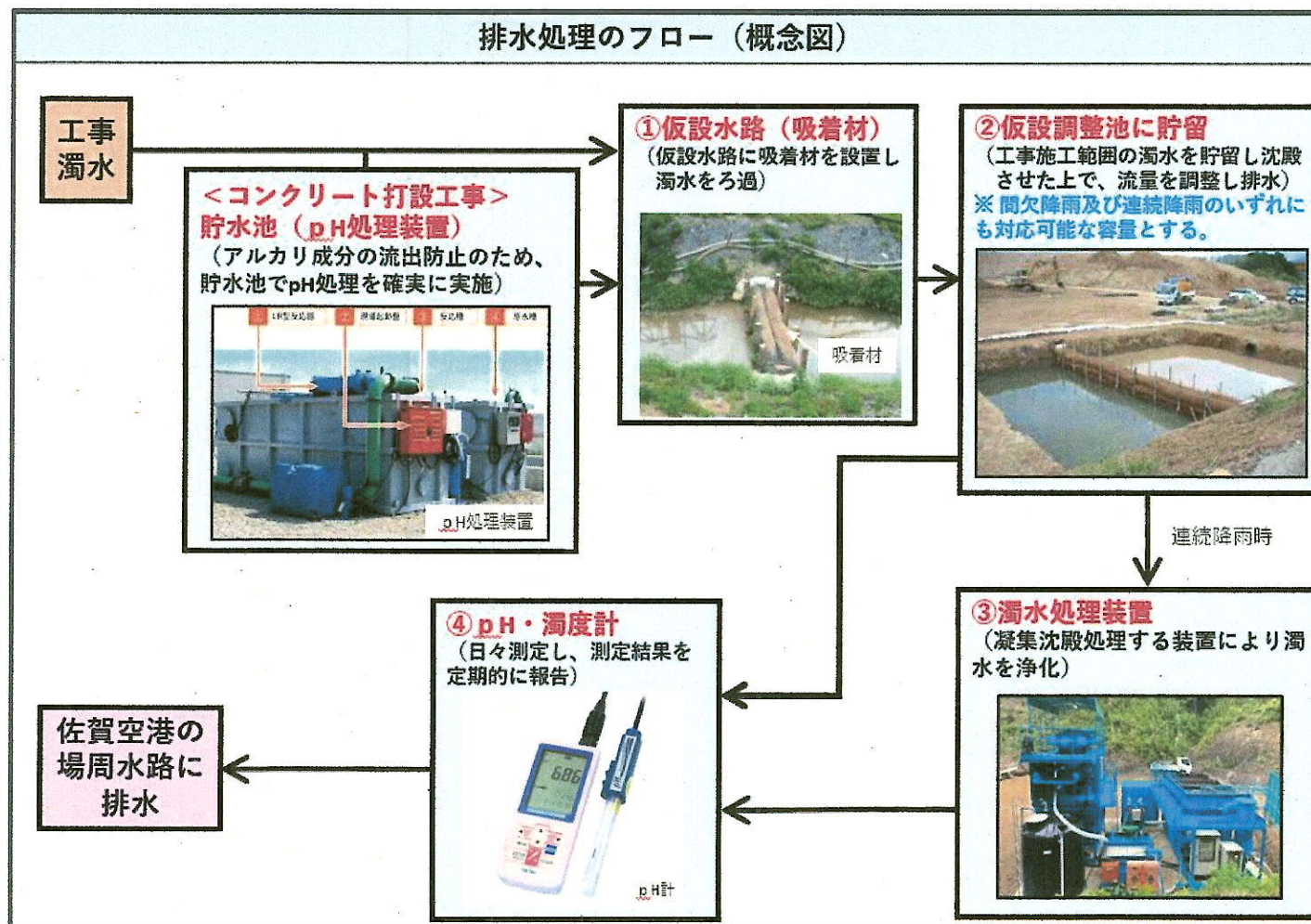


背面



排水対策

- ・ 施工区域内に降った雨水は、仮設調整池に一旦貯め、濁水処理を行うとともに、下流への影響を低減するため流量を調整した上で、空港の場周水路に排水します。
- ・ ノリ漁期間中は、生コンクリートの打設工事は行いません
- ・ 生コンクリート打設工事を行う期間には、工事箇所付近に貯水池を設置し、集水した雨水は、pH処理を確実に実施した上で、仮設調整池まで流下します。



5. 主に使用する建設機械

※写真は参考です

バックホウ:土の掘削に使用



10tダンプトラック:土や建築資材の運搬に使用



ブルドーザー:土の押土に使用



ロードローラー:土の締固め(転圧)に使用



ラフタークレーン: 吊り荷作業に使用



クレーン車: 吊り荷作業に使用



ユニック車: 資材の運搬・吊り荷作業に使用



生コン車: コンクリートの打設※に使用



※ノリ漁期中はコンクリートの打設は行いません

6. 工事に関する問い合わせ先

工事中において、お気づきの点がございましたら、以下の問い合わせダイヤルにご連絡ください。

